



Magtration System 8Lx (7 ml Whole Blood Sample)

Automated Nucleic Acid Isolation and Purification System

クイックマニュアル

~ Genomic DNA Purification Whole Blood ~

プロトコル名: MagDEA DNA 7000 Blood 8Lx

<はじめに>

このプロトコルは、7ml真空採血管（VENOJECT II，テルモ）に入った全血7mlから全自動でゲノムDNAを抽出するものです。装置本体（8Lx）への消耗品や試薬のセット、装置のオペレーションも非常に簡単ですので、多忙なユーザーでも気軽に取り扱いすることができます。

<抽出時間>

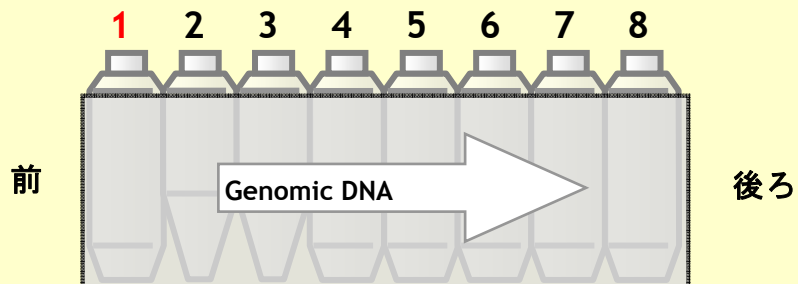
約70分（1~8検体処理/バッチ）

<ユーザー様にご準備いただく物>

- ・ 2-propanol
- ・ 2.0 ml スクリューキャップ式チューブ（溶出液回収用）
（推奨品：ザルスタット，製品コード 72.693）
- ・ 30 ml チューブ
（推奨品：ザルスタット，製品コード 55.517）

<試薬カートリッジレイアウト>

装置へのセット方向 →



MagDEA DNA 7000 Whole Blood (8Lx) (製品コード : E7002)

Table 1. 試薬の配置

ボトルNo.	ボトルサイズ	試薬	内容量 (ml)
1	35 ml	空※	0
2	20 ml	Proteinase K Solution	1
3	20 ml	Lysis Solution	5
4	35 ml	Solution 1	4
5	35 ml	Magnetic Beads	1
6	35 ml	Solution 2	15
7	35 ml	Solution 3	10
8	35 ml	Elution buffer (DW)	30

※ 35 ml 以上の2-propanolを入れて下さい。

2-propanolの推奨品

2-Propanol ACS reagent, >99.5% (190764, SIGMA-Aldrich)

2-Propanol (特級) (166-04831, 166-04836, 和光純薬)

※2-Propanolはガラス瓶に入ったものをご使用下さい。

クイックマニュアル

~ Genomic DNA Purification Whole Blood ~

本試薬は、室温 (20~30℃) にて保存し、高温多湿、及び振動のあるところは避けてください。また、アルミシールを上にして保管してください。

<試薬・消耗品の準備～処理のスタート>

- ① 溶出液回収用の2 mlスクリュウキャップ式チューブと30 ml チューブ×2本をセットします (下写真参照)。
- ② チップを用いてカートリッジ試薬の1番目のボトル (前述参照) に穴を開けます。
- ③ 穴を開けた1番目のボトルに35mlの2-propanolを入れます。
- ④ 試薬カートリッジを装置へセットします (下写真参照)。
- ⑤ 「MagDEA DNA 7000 Blood 8Lx」 プロトコルを選択し、スタートさせます。

- Q & A -



シリンジチップ
(製品コード: F8000)

ヒートブロック 2
(空の30ml チューブ)

ヒートブロック 1
(空の30ml チューブ)

試薬カートリッジ

7ml 真空採血管 (血液サンプル)
(VENOJECT II, TERUMO)

溶出液回収用チューブ
(2.0ml スクリューキャップ式チューブ)

8Lxステージレイアウト

症状	原因/コメント
収量が低い	<ul style="list-style-type: none"> ● サンプルの状態 サンプルとして使用した血液の保存温度等に問題が無いかをご確認ください。また、サンプルは十分室温に戻してから抽出操作を行ってください。冷蔵保存の血液サンプルの場合、保存期間によって収量が減少する場合があります。 ● 試薬の保管状態 試薬の保存温度・場所に問題が無いかをご確認ください。また、振動のある場所で保管をした場合、磁性体粒子の性能が落ちる可能性があります。過度の振動のあるところでの保管は避けてください。
次工程での処理がうまくいかない	<ul style="list-style-type: none"> ● 抽出物の純度 サンプルの状態 (保存期間、保存温度など) により、抽出試薬やサンプルの不純物が持ち込まれ、次工程へ影響を及ぼす可能性があります。
回収液が着色する	<ul style="list-style-type: none"> ● 磁性粒子の混入 磁性粒子が混入すると回収液が茶色く見えることがあります。吸光度測定やPCR等に用いる前に5,000~10,000gで1~2分間遠心操作を行い、上清をご使用下さい。